

平成23年第3回涌谷町議会定例会（第3日）

平成23年3月10日（木曜日）

議事日程（第3号）

1. 開 議

1. 議事日程の報告

1. 施政方針

1. 議案第25号の上程、説明、質疑、討論、採決

1. 議案第26号の上程、説明、質疑、討論、採決

1. 議案第27号の上程、説明、質疑、討論、採決

1. 議案第28号の上程、説明、質疑、討論、採決

1. 議案第29号の上程、説明、質疑、討論、採決

1. 議案第30号の上程、説明、質疑、討論、採決

1. 議案第31号の上程、説明、質疑、討論、採決

1. 議案第32号の上程、説明、質疑、討論、採決

1. 議案第33号の上程、説明、質疑、討論、採決

1. 議案第34号の上程、説明、質疑、討論、採決

1. 議案第35号の上程、説明、質疑、討論、採決

1. 議案第36号の上程、説明、質疑、討論、採決

1. 延会について

1. 延 会

午後1時開議

出席議員（15名）

1番	杉浦謙一君	2番	久勉君
3番	大平義孝君	4番	安部元彦君
5番	伊藤雅一君	6番	門田善則君
7番	鈴木英雅君	8番	大泉治君
9番	菅原富士郎君	10番	長崎達雄君
11番	遠藤积雄君	12番	木村正義君
13番	笹木健一君	14番	加藤紀君
15番	大橋信夫君		

欠席議員（なし）

説明のため出席した者の職氏名

町長	大橋莊治君	副町長	安部周治君
総務企画課長	菅原孝治君	総務企画課 統括主幹	城口貴志生君
町民税務課 危機管理担当参事	齋藤正俊君	町民税務課長	安部政志君
町民医療福祉センター 副センター長	佐々木敏雄君	町民医療福祉センター 総務管理課長	高橋宏明君
町民医療福祉センター 健康福祉課長	佐々木忠弘君	町民医療福祉センター 健康福祉課副参事	熊坂礼子君
産業振興課長	大友信一君	商工観光室室長	小野寺和敏君
建設水道課参事	菊地満君	建設水道課長	村上芳行君
建設水道課 統括主幹	澤田勝治君	会計課長	櫻井信君
教育委員会教育長	木村達夫君	教育文化課参事	久道章夫君
教育文化課長	高橋勝一君	教育文化課 統括主幹	川口美恵子君
教育文化課 統括主幹	三塚尚登君	代表監査委員	牛渡稔君
農業委員会会長	佐竹榮一君		

事務局職員出席者

事務局長	高橋正幸	総務班長	小関文恵
主査	荒木達也		

◎開議の宣告

(午後 1時)

○議長（大橋信夫君） 皆さん、大変ご苦労さまです。

本日もよろしくお願いたします。

直ちに会議を開きます。



◎議事日程の報告

○議長（大橋信夫君） 日程をお知らせいたします。

日程は、お手元に配った日程表のとおりです。



◎施政方針

○議長（大橋信夫君） 日程に入ります。

日程第1、町長の施政方針を求めます。

町長、登壇願います。

〔町長 大橋荘治君登壇〕

○町長（大橋荘治君） それでは、施政方針を申し上げさせていただきます。

本日ここに、平成23年度当初予算並びに諸案件のご審議をお願いするに当たりまして、私の所信を述べさせていただきますが、町民の皆様方を始め、議員各位のご理解とご協力を賜りたいと心からお願いを申し上げます。

我が国経済は、回復基調にあるものの、力強さに欠け一進一退の状態が続いており、政治の不安定さも加わり明るい展望が開けない状況が続いております。

そのような中、宮城県ではここ数年、自動車関連産業の集積が順調に進んでおり、一部の地域では経済波及効果が期待できるなど明るい兆しもありますが、市町村を取り巻く環境は依然厳しく、町民生活にも影響が出てきていることから、今年度も限られた財源をできる限り経済対策に振り向けてまいります。

国の新年度予算は、いつ成立するか不透明な状態の中で、町としましては独自の農林関連補助事業や中小企業振興資金の貸付枠の維持、利子補給補助、奨学資金貸付等のほか、国庫補助金事業の緊急雇用創出事業やふるさと雇用事業等を今年度も実施するとともに、地域の人材育成事業を拡大いたします。

学校の適正規模・適正配置につきましては、涌谷第二小学校と涌谷第三小学校の統合が順調に進んでおりまして、本年4月には「月将館小学校」として新たに発足する予定になっております。さらに今年度は、閉校となります涌谷第三小学校校舎の改修を行いまして、幼保一元化施設として来年4月にオープンできるように準備を進めさせていただいております。

また、4月には韓国忠清南道扶余郡林川面との友好都市締結を予定しておりますが、国際交流の促進による町の活性化に取り組んでまいります。このことについては昨年、大橋議長を始め、そしてまた副議長も韓国扶余

の方にお邪魔をさせていただいて下地をつくっていただいて、ことしの4月15日に調印式をこの涌谷町でやるようになっておりますので、まずもって皆さんにご報告をさせていただきたいと思っております。

さらにまた、行政報告させていただきました総合計画の後期基本計画の総合的な推進はもとより、今年度予算計上いたしております橋梁点検調査、小里小学校外壁等改修事業、前年度からの繰越事業等の重要施策、また町民生活に直結している継続事業等につきましては、町民の福祉向上の目的のため着実に実施していく所存でございます。

〔午後1時5分 長崎達雄議員着席〕

それでは、初めに地方財政及び町財政についてご説明申し上げます。

平成23年度の地方財政計画の規模は82兆5,200億円、前年度比0.5%増で、3年ぶりに増となりました。一方、当町の一般会計は、幼保一元化施設改修事業等の実施によりまして予算規模が拡大しておりますが、町税や臨時財政対策債等の一般財源の減少により不足する分の歳入に加えて、新規の改修事業等に充当する分の歳入の一部も基金の取り崩しで賄うために、繰入金が大きく増加しております。このため、3年ぶりに歳入不足に伴う基金取り崩しによる予算編成となりました。

その結果、平成23年度の一般会計当初予算は63億1,449万1,000円で、前年度比3億1,466万7,000円、5.2%の増となったわけでございます。

次に、主な施策について一般会計から順に申し上げます。

まず、教育と文化のまちづくりについて申し上げます。

学校教育につきましては、基礎・基本の習得の徹底や個人を生かす教育の充実に努めることにより、幼児・児童・生徒が生きる力をはぐくむことを目指してまいりますが、今年度も引き続き算数・数学の学力向上に取り組むことを、小一プロブレムや中一ギャップ解消のため、幼稚園・小学校・中学校の連携、交流事業を実施してまいります。

また、町独自の総合的学習への支援や韓国の小学生を迎え入れて交流を行うとともに、学校施設の改修を実施するなど教育環境の改善に努めてまいります。

子育て支援といたしましては、幼稚園、保育所、児童館の連携のもと、待機者ゼロを実現しておりますが、全幼稚園で実施する預かり保育や保育所等の延長保育、児童館、二つの小学校で実施する学童保育も継続して子育て環境の充実に努めてまいります。

なお、ひなた幼稚園と城山保育所を統合する幼保一元化施設改修事業は今年度実施し、来年4月に開所できるように進めてまいります。

社会教育の推進につきましては、引き続き青少年の健全育成、生涯学習や生涯スポーツの推進、地域の魅力ある芸術文化の伝承と創造等の支援を行ってまいりますが、今年度は新たに元気わくやふれあいまちづくり事業を核として、家庭教育支援の拡充、地域への活動支援、学校教育への支援を一体化で行い、協働教育プラットフォーム事業を推進いたします。

また、放課後や長期休業による各小学校区の余裕教室等を活用する学校放課後子ども教育推進事業を開始いたします。

次に、健康と福祉のまちづくりについて申し上げます。

高齢者福祉につきましては、特別養護老人ホームゆうらいふ及びグループホームゆうらいふのスプリンクラー設置工事を行うとともに、民間グループホームのスプリンクラー設置、火災通報設備の設置及び耐震化改修工事のための補助を行い、介護保険施設の充実を図るとともに、老人保護措置事業のほかひとり暮らし高齢者対策、老人クラブへの助成等在宅生活支援も引き続き実施いたします。

さらに、町内のNPO法人等へ委託し、国の緊急雇用対策事業を活用した介護にかかわる人材育成事業を拡大して実施いたします。

また、今年度は従来の計画を見直し、第五期介護保険事業計画を策定いたします。

児童福祉におきましては、子ども手当の支給を行うとともに、町独自の小学校卒業までの子供医療費の無料化を継続し、子育て家庭の負担軽減を図ってまいります。

健康づくりにつきましては、妊婦健診や3歳児までの各種健診等母子保健事業の充実のほか、国保と連携した特定健診・高齢者健診等の実施体制を国保病院の健診センターと集団検診の選択制として、受診率の向上を図るとともに、健診後の保健指導を実施し、また各種がん検診と合わせて疾病の早期発見、早期治療、介護予防につなげてまいります。

また、予防接種において、町単独事業としてインフルエンザワクチン及び肺炎球菌ワクチン等各種単独事業を行っておりますが、今年度は本年2月から始まった子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進臨時特例交付金を適用して、ワクチンの助成を実施いたします。

次に、生産と交流のまちづくりについて申し上げます。

まず、農業振興につきましては、担い手育成総合支援センターを中心として、関係団体等の連携のもと「戸別所得補償制度」への円滑な対応及び農業担い手総合支援、食まつり等の地域活性化に努めてまいりたいと考えております。

また、水田農業支援のための新規補助金や国営土地改良事業補助金、主に名瀬地区及び鹿飼沼地区にかかる県営圃場整備事業等負担金や補助金を引き続き計上しております。

園芸振興につきましては、引き続きパイプハウス整備補助を実施し、畜産振興につきましては、今年度も肉用牛のための奨励事業を推進するとともに、防疫事業に対する助成を新たに追加し、畜産経営の安定化を図ってまいります。

商工業の振興の面では、中小企業振興資金貸付枠7億円及び融資限度額等を継続し、合併する商工会やシルバー人材センター、貸付保証料の全額と利子の一部に対する町独自の補給補助金等を今年度も実施し、町内商工業への支援を継続してまいります。

また、企業誘致や地場産品、そして観光資源についての情報を町内外にPRするとともに、観光栗園整備やにぎわい夢ショップ事業委託、桜台帳による計画的な桜の管理を行ってまいります。

次に、自然と環境のまちづくり及び快適で安全なまちづくりについて申し上げます。

環境美化事業につきましては、クリーン奉仕活動の支援や公衆衛生組合活動の支援、不法投棄防止パトロール等の事業を引き続き実施するとともに、今年度はみやぎ環境税を活用して公共施設の外灯の省エネ電球交換に着手いたします。

また、し尿や塵芥処理事業、斎場運営等については大崎地域広域行政事務組合との連携を図るとともに、資源

の有効活用を推進する循環型社会の維持に努めます。

また、生活安全確保につきましては、消防団活動支援や消防施設の維持管理を行うとともに、地域の自主防災組織に対する資機材購入支援等を行います。

さらに、交通安全対策におきましては、本当に申しわけなかったんでございますが、1,155日をもって死亡事故ゼロがそこで消え失ったわけでございまして、今後、改めて振り出しに戻りながら、警察、関係機関及び町民の皆さんの連携の上、交通安全教室の開催や交通安全街頭指導等の強化を通して、交通安全意識の高揚と交通事故の防止に努めてまいります。

また、今年度も高齢運転免許取得者教育支援を継続いたしてまいります。

防犯対策といたしましては、警察や地域の防犯協会等のボランティア団体との連携を深めるとともに、防犯活動及び防犯灯設置への支援を行います。

次に、便利な定住のまちづくりについて申し上げます。

まず、道路整備につきましては、交付金事業として、今年度は渋江1号線の側溝整備を行うほか、幹線町道の改良を引き続き行う予定であります。

また、橋長、橋の長さでございますが、15メートル以上の橋の健全度調査が終了いたしましたので、今年度は橋長15メートル未満の橋の健全度調査を新規に実施いたします。

町民バスにつきましては、これまで同様の運賃体系を維持しながら、また利用しやすい環境づくりに努めて、今後とも町民の足としての役割を果たしてまいります。

最後に、自治と自立のまちづくりについて申し上げます。

コミュニティ活動の推進につきましては、地域での自治会活動や自治会の結成、学校週5日制対応の地域活動に引き続き支援をいたしてまいります。

また、財務状況のわかりやすい開示と財務の効率化、適正化を目的とした公会計財務諸表作成に着手いたします。

国民健康保険事業勘定特別会計について申し上げます。

平成23年度の国民健康保険事業につきましては、被保険者の高齢化や生活習慣に起因する慢性的な病気の罹患者が増加していることに伴いまして、保険給付費の増加、また長引く景気低迷等で保険税収入の大幅な減少が続いて、財政調整基金残高の減少から極めて厳しい財政状況になっております。

今年度は、特定健診等の保険事業を初めとして、20代、30代の健診を新たに開始し、疾病の早期発見、予防、被保険者の健康の保持増進を図りながら、医療費抑制に努めるとともに、保険税の収納率の向上を図り、健全な国民健康保険事業の運営をしてまいりたいと考えております。

公共下水道事業特別会計・農業集落排水事業特別会計について申し上げます。

公共下水道事業につきましては、平成24年度の完成を目指し、引き続き涌谷浄化センター沈砂池ポンプ棟建設工事を進めるとともに、事業計画の見直しに基づいて管渠の整備を行ってまいります。

接続促進については、生活環境の向上と自然環境の保全という下水道事業の意義をご理解いただけるよう、PR活動を継続してまいりますのでございます。

農業集落排水事業については、供用を開始しております地区につきまして接続率の向上と施設等の適切な施設

管理及び水処理を行ってまいります。

水道事業会計について申し上げます。本会計につきまして昨年度料金の引き下げ改定を行っておりますが、今年度の有収水量は1.4%の増、133万6,000立方メートルを予定いたし、収益的収入及び支出におきましては経常利益を生じる経営となる予定であります。

また、主な建設事業といたしましては、平成4年度から継続実施しております石綿セメント管更新事業として、黄金迫前南地区内及び外作田地内を予定しており、あわせまして昨年度建屋改修を行いました福沢浄水場のテレメーター等の更新工事を予定いたしております。

次に、病院事業会計について申し上げます。

国民健康保険病院事業におきましては、医療福祉センター改革プランにおきまして病床利用率の向上や経営の効率化などによる平成23年度経常収支の黒字化という目標に向け努力いたしてまいります。

その結果、医師充足による診療報酬の加算や地域医療再生のための地方交付税の増額等によりまして、当初において黒字予算を計上したところでございます。

また、懸案となっておりました医師確保につきましては、管理者を初め関係各位のご尽力をいただき、4月から耳鼻咽喉科の常勤医1名を採用予定しており、さらに内科系、あるいは外科系の医師1名ないし2名の採用を予定いたすものでございます。

このことによりまして、現在勤務する常勤医を含めスタッフの充実による、よりよい地域包括医療ケアの提供に努めるものでございます。

健診センター部門につきましては、引き続き町内全地区を対象とした特定健診、特定保健指導を実施するとともに、検診や人間ドック受診者への受診勧奨もあわせて実施し、受診率向上を図ってまいります。

以上、町政運営と予算編成の考え方についてご説明申し上げましたが、平成23年度当初予算では、全企業会計において久しぶりの黒字予算となりましたが、一般会計においては歳入不足に伴う基金取り崩しによる予算編成と厳しい状況となっております。

このようなことから、当町にとっては、今後全会計連結の状態において可能な限り基金に頼らない予算編成を実現させることが重要となりますが、一方で緊急の景気対策や少子高齢化に対応する事業、老朽化の進む施設の修繕等山積する課題にも対応し、活力あるまちづくりを進めていく必要があります。

この難局を乗り越えるために、町民の皆様方の意見に耳を傾けながら、事業の見直しや選択を行い、魅力ある環境づくりに努力してまいりますので、議員の皆様方のなお一層のご協力と、町民皆様方のなお一層の行政に対する叱咤激励を賜りますよう、心からお願いを申し上げます、平成23年度の施政方針とさせていただきます。

ありがとうございました。

○議長（大橋信夫君） 町長、大変ご苦労さまでした。

青沼センター長が出張のため、平成23年度涌谷町町民医療福祉センターの運営方針は3月14日、一般会計質疑の前にお問い合わせすることといたします。



◎議案第25号～議案第36号の予算審査特別委員会への付託

○議長（大橋信夫君） 日程第2、議案第25号 平成23年度涌谷町一般会計予算から日程第13、議案第36号平成23年度涌谷町訪問看護ステーション事業会計予算まで12件を一括議題といたします。

お諮りいたします。

これより全員をもって構成する予算審査特別委員会を設置し、これに付託の上、休会中の審査に付することにしたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○議長（大橋信夫君） 異議なしと認めます。

よって、全員をもって構成する予算審査特別委員会を設置し、これに付託の上、休会中の審査に付することに決しました。



◎延会について

○議長（大橋信夫君） お諮りいたします。

本日の会議はこの程度にとどめ、延会したいと思います。これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○議長（大橋信夫君） 異議なしと認めます。

よって、本日はこれをもって延会することに決しました。



◎延会の宣告

○議長（大橋信夫君） 本日はこれで延会いたします。

延会 午後1時28分